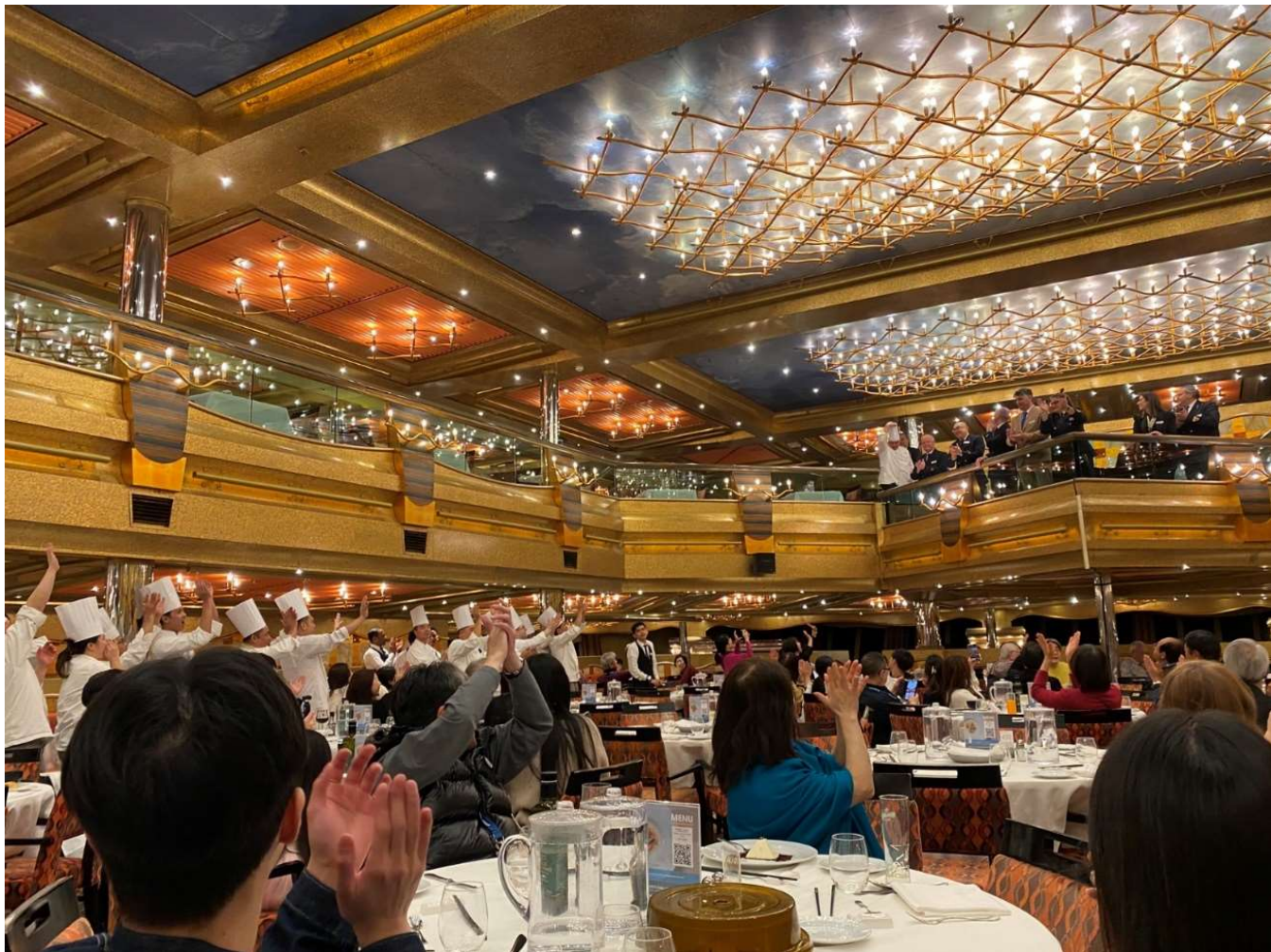




【2 階への階段にもレストランスタッフが列をなす。曲に合わせナブキンをふる乗客も。】

いよいよクルーズも最後の夜を迎えた。
船内レストランも最後の晩餐を楽しむ人々で賑合い、楽しい会話が飛び交う。
コース料理も進み、そろそろデザートも出始めたころ、2 階席からイタリア語の歌声が響くではないか。
見あげると、そこにはカンツォーネ歌手、そして傍らには運航会社の幹部たちが揃う。
通訳兼日本人スタッフが代表し、今回の参加と協力の御礼を述べる。

これに応じて万来の拍手。
見渡せば、テーブルの周りには調理人やウェ이터/ウェイトレスの面々も取り囲み手を振る。

そうするうちに曲はあの日本人にはお馴染みの「ジェンカ」に変わり、私たちも次々と席を立ち、ダンスの輪に加わる。
その輪はどんどん大きくなり、遂にはレストランを埋めつくした

そして「アルベデルチ“コスタ・セレーナ”（さようなら、コスタ・セレーナでまた会う日まで）」で終えた。

感動的なディナーを終え、皆、クルーズ最後の夜を楽しむため、それぞれの会場に向かう。
まだまだコスタ・セレーナの夜は終わらないのだ